

受験生の皆さんへのお願い（新型コロナウイルス感染症対策）

創価大学は入学試験に際して新型コロナウイルス感染症の防止対策として、係員の体調管理・マスク等の着用、手指消毒剤の配置等を徹底し、受験生の皆さんが安心して入学試験を受けられるように努めてまいります。

試験日までには受験生の皆さんにご協力いただきたいことをまとめましたので、必ずご確認ください。

なお、今後の感染症の状況等により、内容を変更する場合があります。

本文中の「試験会場」とは、創価大学が実施するすべての入学試験場を指し、地方試験場も含まれます。

【試験日までの準備等】

- ① **試験日 7 日程度前から**発熱や咳などの症状がある場合は、あらかじめ医療機関で受診するとともに、創価大学アドミッションズセンター（TEL：042-691-4617 mail：nyushi@soka.ac.jp）へ必ず連絡してください。
- ② 新型コロナウイルスなど学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験日までに自宅待機等の隔離・待機期間が過ぎていない者は、出願が完了した場合でも受験することができません。
- ③ 保健所等から新型コロナウイルス感染症罹患者の濃厚接触者に該当するとされ、発熱・咳等の症状があり、出願が完了した場合は受験の可否を判断するため、創価大学アドミッションズセンター（TEL：042-691-4617 mail：nyushi@soka.ac.jp）へ必ず連絡してください。
- ④ 海外から日本への入国の際、入国後に待機を要請される場合があります。その期間は受験できないため、待機期間の有無を確認の上、余裕を持って入国してください。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症等に罹患した方または罹患者の濃厚接触者で発熱・咳等の症状があり、全学統一入試および一般入試について受験が出来なかった場合は、受験機会の確保として、特例対応：追試験への受験を案内します。
- ⑥ 他の疾患を減らすため、インフルエンザワクチン等の予防接種を受けることをご検討ください。
- ⑦ 日ごろから手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、換気、身体的距離の確保、「三密」の回避などを行うとともに、バランスの取れた食事・適度な運動・休養・睡眠など体調管理を心掛けてください。
- ⑧ 各試験場の下見で、キャンパス（地方試験場含む）に入ることはできません。
- ⑨ その他受験上の配慮をご希望の方は、創価大学アドミッションズセンター（TEL：042-691-4617 mail：nyushi@soka.ac.jp）までご連絡ください。

◆ 濃厚接触者※1で無症状の場合の対応 ◆

文部科学省の新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドラインに則り、以下のいずれの要件も満たした無症状の濃厚接触者の別室での受験を認めます。該当者は、事前に創価大学アドミッションズセンター（TEL：042-691-4617 mail：nyushi@soka.ac.jp）へ必ず連絡してください。

- i) 初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査〔行政検査〕）の結果、陰性であること。
なお、初期スクリーニングの検査実施後、検査結果が判明しない場合は追試験を受験してもらいます。
- ii) 受験当日も無症状であること。
- iii) 公共交通機関（電車、バス、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと（自家用車等を利用してください）。なお、自家用車、レンタカー、親戚・知人による送迎、バイク、自転車のほか、以下の条件等のもと利用するタクシー、ハイヤー、海上タクシーについては、公共交通機関には該当せず利用可能です。
 - 1) 業界団体が策定した感染対策ガイドライン等に基づき、感染対策を講じている車両等を利用すること（例：マスク着用、アクリル板やビニールカーテンなどの飛沫対策、換気、助手席に座らないこと等）。
 - 2) 利用車両等が特定できるよう、濃厚接触者であるが、行政検査が陰性かつ無症状であることを告げたいうえで、予約を行い、他の乗客と乗り合わせせずに利用すること（流しのタクシーは使用しないこと）。なお、濃厚接触者の行政検査が実施されない自治体の受験生においては、抗原定性検査キットにより陰性確認を行っていることを告げたいうえで、予約を行うこと。
- iv) 終日、別室で受験すること。

※1 なお、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者が本項の対象となります。

※ 万が一、受験生自身で予約ができない場合、文部科学省に相談窓口にお問い合わせください。

（参考：文部科学省ホームページ）

無症状の濃厚接触者の受験者のうちタクシー、ハイヤー、海上タクシーでの移動を希望する皆さまへ

https://www.mext.go.jp/nyushi/mext_00003.html

【試験当日の注意点】

- ⑩ 試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験生が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽いかぜの症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがある。）に相談するとともに、追試験の受験の検討をお願いします。
- ⑪ 発熱や咳などの症状がある場合は試験場の受付にて申し出てください。
- ⑫ 試験会場内は飲食時を除き、マスクを着用してください。着用していない方は入構できません。
- ⑬ 試験会場のほか、試験教室の入退室時に消毒を行ってください。試験教室ごとに手指消毒剤を設置します。試験教室への入退室時に混雑が予想される場合は、試験監督員または係員が移動の順番を指示しますので従ってください。
- ⑭ 試験中もマスクを着用してください。試験監督員が本人確認のために一時的にマスクを外すように指示する場合があります。その際は試験監督員の指示に従ってください。
- ⑮ 昼食は各自で必ず持参し、自分の座席で食べてください。試験会場の外へ出ることはできません（構内の食堂は営業していません）。また、ごみは各自で持ち帰りをお願いします。
- ⑯ 休憩時間や面接試験の待機時でも他者とは距離を空け、会話は控えてください。
- ⑰ 換気のために試験教室の窓を開放したままにする場合があります。室内が寒くなる可能性がありますので、上着を持参してください。
- ⑱ 受験生以外の保護者や付き添いの方は、キャンパス（東京試験場）には入構できますが、試験場校舎内には一切入れません。なお、地方試験場には控室がございませんので、予めご了承ください。
- ⑲ 受験生への付き添いが必要な場合は、予め創価大学アドミッションズセンターへ連絡をしてください。状況により付添を許可します。許可なく付き添いの方の入構はできません。

【試験終了後】

- ⑳ キャンパス内にマスクを廃棄しないでください。
寄り道せず自宅や宿泊先に戻り、すぐに手洗い、洗顔、うがいなどを行ってください。
- ㉑ 受験後に新型コロナウイルス等の感染症に罹患した場合は、創価大学アドミッションズセンター（TEL：042-691-4617 mail：nyushi@soka.ac.jp）へ連絡してください。